

＊ 企業長から

公立小野町地方総合病院企業団企業長 藤井文夫

今般の東日本大震災におきましては、地域の皆さまをはじめ多くの方々よりご支援を頂きましたことに対し改めて感謝申し上げます。

震災後、被災した施設の早期復旧に向けて国や県などに対し、要望活動を行ってまいりましたが、このたびヤマト福祉財団から「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生支援募金」助成事業として、当院施設整備に対し助成金の交付決定をいただきました。

当院は、地域唯一の総合病院として、地域の皆さまの生活安全の支えとして一翼を担っております。

今後は、現在の診療機能を維持するとともに、震災の経験を生かし、災害時においても安心して医療を受けられる施設の整備を早急に進めてまいりたいと考えております。

今後とも地域の皆さまの付託に応えるべく、職員一同さらに全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

＊ 町長から

小野町長

宍戸良三

このたびの助成決定にあたりましては、ヤマト福祉財団をはじめとする関係者各位に対し心から感謝申し上げます。また助成事業に賛同いただいた一般の皆さまの善意に対しましても深くお礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所の事故は、小野町におきましても直接、あるいは風評により甚大な被害を被っております。町では、3月11日以前の安全・安心な生活を取り戻すため、町民一丸となり、放射能災害への対応復興に取り組みを続けております。

地域医療の核となる公立小野町地方総合病院施設の整備は、当町にとっても重要課題の一つでありましたが、今回の助成決定により、事業進展に大きな弾みがつくものと大変喜んでおります。

また先ごろ福島県がまとめた「浜通り地方医療復興計画」におきましても、当病院の整備が求められており、これら計画とも相まって福島県復興の大きな礎となるものと考えております。

今後とも、企業団、病院議会、構成市町村との連携を図り、地元町としてより良い病院の整備に向け取り組んでまいります。

ヤマト福祉財団事業について

ヤマト福祉財団は、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に、1993年9月に設立されました。

主な事業には、障がい者が共同で作業する事業所の職員研修を全国各地で開催するほか、障がい者の自立と社会参加に関する事業への助成、障がいのある学生への奨学金の支給など、広範な事業を行っています。

このたびの助成事業は、東日本大震災による被害の甚大さから、被災地域の生活基盤の復興と水産業、農業の再生支援のためいち早く設けられた支援事業であります。この財源には「宅急便」1個につき10円の寄付やこの趣旨に賛同された一般の皆さんからの浄財が充てられています。

公立小野町地方総合病院の整備事業に対する助成決定は「見える支援、早い支援、効果の高い支援」と、復興支援における緊急性が高い事業として、認められたことによるものです。